

令和5年度
第3回 教育委員会 会議録

那須町教育委員会

令和5年度第3回那須町教育委員会議事録

令和5年10月3日午後1時30分から、令和5年度3回那須町教育委員会が開催され、その結果は次のとおりであります。

1 本会議に出席した委員は次のとおりであります。

平久井好一教育長、大森源一郎委員、菊地昭一委員、菊地厚子委員

1 本会議に出席を求めた者は次のとおりであります。

学校教育課長 佐藤英樹、生涯学習課長 島村育男、こども未来課長 大森貴之、

1 本会議の書記を命ぜられた者は次のとおりであります。

学校教育課長補佐 赤羽根 初美

1 本会議の議事は次のとおりであります。

報告事項

報告事項1 教育委員会委員の任命について

報告事項2 令和5年度「教育委員会の点検・評価」報告書（令和4年度事務事業対象）について

報告事項3 子ども読書推進計画策定について

報告事項4 各種認定・許可状況について

報告事項5 いじめの重大事態発生の報告について

1 開 会

学校教育課長

ただ今から令和5年度第3回那須町教育委員会を開会いたします。

はじめに、平久井教育長よりご挨拶をお願いいたします。

2 教育長あいさつ

皆さん、こんにちは。

本日はご多用の中お集まりいただきましてありがとうございます。以前の教育委員会から月日が経ちましたが子どもたちの活躍が非常に目に見える形で出てきたと感じております。那須地区の少年主張の発表会では、那須中央中学校の3年生が最優秀賞を受賞しました。発表内容は、今、那須町が進めているコミュニティスクールの双方向性、地域と学校の役割をもって地域へ出て地域のお祭りや行事に参加するという内容でありました。またその他に、那須中学校は昨年、「良い歯のコンクール」で栃木県知事賞を受賞しまして、この賞については連続受賞は難しく、今年度は歯科医師会賞などのいくつかの賞を頂いております。こちらは全国のコンクールにも出展ということで、全国へ出展されるのは今回で2回目となります。

先日は那須地区新人大会がありました。野球優勝が那須中央中学校、サッカー優勝が那須中学校でした。スポーツの中では野球とサッカーをする子ども達が多い中で、優勝したということは、那須町の子どもたちが大きく活躍しているということで取りあげたいと思います。さて、その裏では先生方がしっかり指導してくださっています。感謝申し上げたいと思います。さて、本日の教育委員会の主な協議としましては、教育委員会委員の任命について、教育委員会の点検・評価報告書について、子ども読書推進計画策定について、各種認定・認可状況について、いじめの重大事態発生の報告についてです。一つ一つ丁寧に協議をして、皆様からご意見いただきたいと思いますので、どうぞよろしく願います。

3 会議録署名人の指名

教育長

本日の会議録署名人を指名いたします。今回は大森源一郎委員と菊地厚子委員に会議録署名人をお願いします。

4 前回会議録の承認

教育長

前回会議録について事務局から説明をお願いします。

学校教育課長

前回会議録説明

全委員

承認する。

教育長

それでは、本日の委員会の日程について、学校教育課長から説明をお願いします。

学校教育課長

日程説明

教育長

それでは、議事に入ります。

5 報告事項

教育長

それでは報告事項(1)教育委員会委員の任命についてですが、私から報告いたします。冒頭で課長より報告がありましたとおり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第4条第1項及び第2項の規定により、令和5年9月1日の町議会の定例議会において、私並びに菊地厚子委員の任命について、同意されましたので報告いたします。

これにより、私の任期は令和8年9月30日までの3年間、菊地厚子委員の任期は令和9年9月30日までの4年間となっております。引き続き、皆様どうぞよろしく願いいたします。ここで、菊地厚子委員より一言ご挨拶をお願いいたします。

菊地(厚)委員

引き続き、どうぞよろしく願いいたします。

教育長

ありがとうございました。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、次に報告事項（2）令和5年度「教育委員会の点検・評価」報告書（令和4年度事務事業対象）について、事務局から説明をお願いいたします。

学校教育課長

資料に沿って説明

教育長

ただいま、事務局より説明がありましたが、こども未来課、生涯学習課から補足説明はありますか。

こども未来課長

放課後児童健全育成事業ですが、評価委員さんからもご意見いただいているところではありますが、やはり近年保護者の方々が大変忙しく、保護者会等の事務などの負担も増えている状況です。保護者の負担をできるだけ減らせるような運営に向けた仕組み作りについて、町でも検討しているところでもあります。また、現在の放課後児童クラブが定員に達しているところもありますので、今後そちらにつきましても、第三の居場所として学童に限らず、子どもたちの居場所を作っていきたいと現在考えているところで、B評価をいただきました。

生涯学習課長

文化センター自主事業でございます。こちら外部評価としてはA評価をいただいたところではございますが、コロナ渦ということもあり、文化センターの大ホールを使った事業を実施出来なかったということで、令和4年度に中学生を対象とした長唄舞踊劇と木琴コンサートを開催いたしました。ですが、過去を振り返ってみると、文化センターの大ホールで著名な方を呼んでイベントを実施した実績あり、以前のような事業の開催を望むご意見もいただいておりますので、予算が厳しい状況ではありますが、今後予算要求をしていきたいと考えているところでございます。以上です。

学校教育課長

英会話力向上事業についてはB評価をいただいておりますが、先生方は英会話力の向上に寄与しているという評価をいただいているところでございます。評価を見せるという観点から、今年度から中学生の英語検定3級についての受験料を1人あたり年一回補助するというので、事業を開始したところでございます。1回目に申し込みがあった生徒は15名であり、現在2回目の募集をかけている状況です。この受験料補助により、目に見える成果となると良いと考えております。

教育長

ありがとうございました。それでは、ご意見、ご質問がありましたらお願いします。

大森委員

外部評価も内部評価も良い評価をいただいて非常にありがたいと思います。良い評価をいただいた部分も、必ず1つ2つ取り上げて検討していくことが必要ですね。

学校教育課長

評価委員からいただいた提言については、予算の関係もありますが、令和5年度からの事業に生かされるよう検討していきたいと考えております。

教育長

他にご意見ありましたらお願いします。

菊地(厚)委員

すべてが良い評価では何のために評価するのかという意見が、教育委員会の中であったと記憶していますが、やはり評価する意味は、小さいことであっても、あと少し手を加えていたらもっと良くなるのではないかという、次につながる意味としてすごく大きいと思うので、B評価がたくさんついてしまったからよく出来ていなかったではなく、次に向けての建設的な意見として評価を捉えて、次に繋げられれば良いと思いました。そういう意味で、放課後児童健全育成事業はこれから時代が変わっていく中で、検討すべき部分がたくさんあるのではないかと思います。以上です。

教育長

事務局から何かありますか。

学校教育課長

昨年度の点検評価につきましては、先程、委員からありましたようにすべてA評価でした。今回は点検評価するにあたり、「A達成されている」ではどこまで達成されているか、何を基準に判断したらいいのかという話が点検委員の方からありました。そういった中で、こうすればもっと良くなるなど、意見を出していただきながら今回評価をいただいたところです。以上でございます。

教育長

補足になりますが、A、B評価は達成されているかどうかの大きなところで、むしろ私たちが大事にしたいのは、この点検評価委員からの主な意見だと思います。P18の保育園・幼稚園公私に関わらず特色ある保育園の運営を推進することなど結構厳しい意見があり、またP19の放課後児童健全育成事業については、第三の子どもの居場所について学校や地域を含めて検討することとあります。他にも、運営に伴う事務手続きなどにより、保護者の負担が増えている、忙しい保護者の負担軽減を図ることといった意見もありました。そういった厳しい意見も大事に、来年度に向けて取組んでいけたらと考えております。

菊地(昭)委員

P22の英検の補助金は無くてもいいのではないかと思います。補助金があるから英語を頑張ろうという気持ちにはならないと思います。また、他事業との連携した事業内容を検討するとありますが、他事業とは何のことでしょうか。

学校教育課長

英会話力向上事業ということで、子どもたちが画面を通じて、ネイティブの方とお話をするという授業が一つの事業であり、先程お話をさせていただいた英検に関する事業が他事業に該当するかと思います。

教育長

例えば、英会話力をつけるといっても日本の英語教育のように英文法だけ勉強しても話せるようにはなりません。先程、他事業との連携した事業内容を検討するとありましたが、以前行っていたイングリッシュキャンプ等の新たな事業を検討しても良いと思います。イングリッシュキャンプの場でALTの先生方が何人もいて、必然的に英語を話す機会を作ると少し興味は出てくるのではないかと考えます。

菊地(昭)委員

生活するとなると話さないといけない状況になりますから、グループで行動したり、宿泊したりする際に、日本語NGにしてグループで協力しながら何とか伝える、聴くという状況の中から一歩前に踏み出す勇気が出るのかなと思います。

大森委員

このスクールバス運行事業ですが予算が結構かかるようですね。こちらはすべて委託でしょうか。

学校教育課長

業務は委託しておりますが、バスは町でリースしているものと町が所有しているものがございます。

大森委員

そうですか。別件で運転手さんたちの喫煙等のモラル問題を保護者の方が心配されているので指導をお願いします。

学校教育課長

申し訳ございません。早急に担当の方からその旨連絡いたします。

教育長

今後も地域からこのような話が出た際には早めに連絡をいただけたらと思います。

他に何かご意見ありますか。

大森委員

ありがたいことに、どの事務事業もいい評価もらっていますね。

教育長

これまでは、こども未来課が町長部局であり、評価委員さんが2人だったところ今回は3人に増えたことで、今まで以上にいろんなご意見をいただけたと思います。

菊地（厚）委員

評価をするためには評価委員さんが一日かけて会議を行い、そこで出された意見がここに記載されているということでしょうか。

教育長

はい。

菊地（厚）委員

評価委員さんたちは事前に資料等を確認いただいた上で、点検しながら自身の意見をまとめて評価、意見を出すということですね。分かりました。

教育長

ではこれについては承認いただけるでしょうか。

各委員

了承

教育長

ありがとうございます。それでは次に報告事項（3）子ども読書推進計画策定について事務局から説明をお願いします。

生涯学習課長

それでは、那須町子ども読書活動推進計画策定委員会設置要項と別紙でお配りしました、「子どもと本をつなぐ人がいるまち」という現在の計画の一部ではありますが、第二期計画ということで参考までにお持ちしたものでございます。

生涯学習課長

資料に沿って説明

教育長

はい、ありがとうございます。補足説明として見ていただきたいのですが、第二期に作成した資料のP21、22、23のこちら第二期としての5年間に、こんな事業をやったら子どもたちが読書できるのではないかということで会議を行った際に、担当から推進状況をご説明しました。P23にあるビブリオバトルの開催については、プレゼンフェスティバルで中学生が行ったり、黒田原小学校でも学校行事として低学年から高学年まで行ったりしていましたが、ここ数年コロナ禍だったこともあり、学校単位で行うということがなくなってしまったという感じです。この事業の取り組みで色々なご指摘を受けたのですが、アンケートを取りまして、P26にある結果を元に、子どもたちの読書活動の様子などを比較していき、そこから再び事業を考えていきたいと思っていますところですが、これについて何かご意見ありますか。

菊地（昭）委員

読書離れはだいぶ昔から言われていますね。離れていくということは面白い本が無いからだと私は思います。また、本を嫌いになってしまう原因が読書感想文にあるのではないかと私は思うのです。本を読んで感想を書くとなると、本の風景が見えなくなり、真っ暗になってしまう、ですから本を強制的に読ませるということをなくせばいいと思います。

本には本のリズムがあり、そのリズムは子どもの頃の親の読み聞かせによって磨かれると思いますので、本当であればボランティアではなく、保護者に読んで欲しいと思いました。文章を一つ暗記すると何回も繰り返すと思いますが、自分で読むことで自身のリズムが生まれ、頭に入ってきて理解しやすくなると感じます。その点では、百人一首も文章を好きになる一つの手ではないかと思いました。以上です。ありがとうございました。

教育長

他に何かご意見・ご質問ありますか。

菊地（厚）委員

P29問4ですが、読み聞かせをしていない理由は何ですか？という声を聞いて、時間がないと答えた保護者が多いようですね。ですが、読み聞かせが必要ないと答えた保護者は誰もいません。必要はあるのに時間がないと答えているのです。ただ、本当に時間がないのかと考えた時、私自身は寝る時に読んでいました。皆さんほとんどの方そうだと思いますが、寝る時に読めば時間がないとは言わないのではないかなと思います。お母さんに時間がなかったとしても、お父さんも時間を作ろうと思えばあるのではないのでしょうか。読み聞かせをすることで、小さいうちから本を好きになると思うし、メリットとして小学校に上がった時のスタート位置は違うと思います。

菊地（昭）委員

違いますよね。私もそう思います。

大森委員

なかなか難しい問題だと思います。今までも色々考えてはきましたが、子どもが成長してくると本を読むよりも楽しいと感じることが増えてくることは確かですよね。テレビやスマホなどからの情報があふれる中で、どのように本と関わりを持たせるかが課題だと思います。授業前に読み聞かせするなどして、なるべく接点を持つようにしないといけないのではないかと感じました。興味を持たせるために工夫をしていますが、この策をどうするか検証する必要があると思います、そして良いものを伸ばしていきたいですね。活字と触れ合うためには漫画でも良いと私は考えます。以上です。

菊地（昭）委員

子どもに本を読み聞かせする時間がないくらい忙しいのも理解できるのですが、子どもと過ごせるのは数年間しかない、ということをもっと多くの保護者に知っていただきたいですね。

教育長

先日開かれた委員会の中で、中学校の国語科の先生から朝の読書をやめましたとの話がありました。本の冊数が結果ではなく、読書の習慣がつくような取り組みを求めているのではないかと思います。学識経験者の方からお話ありましたが、保護者が家で読書をすれば子どもも本を読む、その通りだと思います。

生涯学習課長

正直、私もあまり本を読まない人生を送ってきましたので、非常に苦しいところではありますが、先日の会議の中でも親が読んでいないのだから子どもが本を読むわけないでしょうという、そんな子どもたちに本を読みましようというのは厳しいのではといった意見がありました。また、小学校に上がる前の時に、絵本や漫画、雑誌などを通して読むということが大事なのではないかと意見もありました。

那須町でもこども未来課との連携を取りながら、『ブックスタート』とって最初に本を読むという事業を行っていて、今後の第三期で重点的に重きを持っていくことが良いということになれば、そういった部分を取り入れていきたいと思ひますし、本日いただいた意見に関しましては次の委員会で委員の方に是非共有させていただきたいと思ひますので、引き続き何かあればよろしくお願ひします。

教育長

他に何かご意見ありますか。

こども未来課長

私自身、本を読むと眠くなってしまってなかなか読めません。妻は本が好きで、その場合子どもにどういった影響が出るのかと心配していたのですが、子どもたちに対して読み聞かせは続けていました。すると息子はどんな本でも読み、娘はあまり本を読まない子になり、これに関しては遺伝もあるのではないかと感じました。本を読まない、読めない人に強制的に読めというのは苦痛だと個人的には思います。今は仕事上読まなくてはならないものについては読みますが、やはり本を読める人というのは羨ましいです。以上です。

菊地（昭）委員

先程も話をしましたが、本を読まないというのは面白い本が無いからだと思います。世の中には本屋大賞などの流行から読む人もいるし、それぞれ自分の好きな本のパターンを持っていれば、本の総ページ数が多くても読めてしまうし、食べ物と同じで好きな本を読むことができればそれでいいと思います。

自分が読みたい本を見つける、それがスタートだと思います。だから中高生が図書館にある小学生向けの本を読んでいいと思うし、かえって楽しめるかもしれないですね。レベルの高いものを読もうとするから難しく感じてしまうのではないかと感じました。

大森委員

那須町の図書館に通う方は貸出も含めてどれぐらいいるのでしょうか。

生涯学習課長

本日資料はありませんがご年配の方が多く、年間ですと4万5千人前後の来場者だったと記憶しております。

教育長

学校教育課長、どうでしょうか。

学校教育課長

高校を卒業する時に担任の先生からこれからは本を読むと良いと言われ、たまたま最初に読んだ本が自分に合っており、それから読むようになりました。

大森委員

やはりきっかけが大事ということです。どうきっかけ作りをしたらいいのでしょうか。

菊地（昭）委員

図書館は自身の資料室だと思います。調べたいと思って見た本に付箋がついているものもあり有難いとも思います。それ以外に図書館でくつろぐことができても良いと思うし、珈琲を飲むことができても良いのではないのでしょうか。ショップを出店して、もっとみんなが図書館に足を運びたくなるような施設整備をしてもいいのではないかと感じました。

教育長

私も事務局として話を聞き、意見を出してはきましたが、昔の読書のイメージを現代に押し付けていないかと感じています。私の特徴からすると、若い時から比べて今のほうが本の内容を遙かに理解できます。ですが、常に読んでいるかというところではなく、仕事と関係していると感じます。強制されるものではないし、私はそれでいいと思います。こども未来課長からありましたが、読むことが不得意な人ももちろんいると思います。そういう点はきちんと見つめていかなくてはならないと思いました。

大森委員

強制するものではないということと、何かきっかけを作ってあげることも大事だと感じました。

教育長

もちろん、何かをじっくり読む習慣というのも大事ではありますね。

菊地（厚）委員

私は、本が面白いと思ったら読むと思いました。

こども未来課長

未就学児などの小さいときの読み聞かせは大事だと思うし、そのことはずっと印象に残っているのではないかと思います。

教育長

貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。ぜひ参考にいたします。では続いて報告事項（4）各種認定・認可状況について事務局よりお願いいたします。

学校教育課長

はい、各種許可・認定状況について、ご説明いたします。まず①指定校変更許可申請児童生徒状況ということで、前回に比べ1世帯1名の増加になります。また、②区域外就学許可児童生徒状況（町内校への通学）の申請件数につきましては1世帯で3名の増加となっております。続きまして③区域外就学許可児童生徒状況（町外校への通学）の申請件数については3世帯3名増で13名います。④要保護及び準要保護申請世帯状況につきましては、2世帯3名増ということで、全部で93世帯138名となっております。以上です。

教育長

皆さまから何かご意見、ご質問ありましたらお願いいたします。

各委員

特になし

教育長

では続きまして (5) いじめの重大事態発生報告について事務局から説明願います。

学校教育課長

今回のいじめの重大事態発生報告につきましては、現在調査中の案件ということでございます。資料を読んでいくと一部に個人情報が含まれていることから、今回の会議では非公開とさせていただければと思います。

教育長

事務局のほうからこの件について非公開ということによろしいでしょうか。

各委員

了承

教育長

これより報告事項 (5) いじめの重大事態発生報告については非公開といたします。

(報告事項 (5) について、説明・審議)

教育長

これより公開いたします。(6) その他について事務局からありましたら願います。

学校教育課長

それでは委員の皆様にご報告いたします。会津美里町の教育委員会との交流についてですが、11月7日(火)に実施する予定となっております。お昼頃から会食しながらのスタートを考えております。

もう一点ございます。西郷村の教育委員会との合同研修会ですが、年明けに開催したいと考えております。こちらは、まだ日程は決まっておりません。事務局からは以上です。

学校教育課長

皆さまから、ご意見がございませんでしたら、以上をもちまして、令和5年度第3回那須町教育委員会を閉会といたします。大変お疲れ様でした。

この会議録は書記 赤羽根初美が記録したものであり、事実と相違ないことを署名する。

令和5年10月3日

委員 大森源一郎

委員 菊地厚子

書記 赤羽根初美